

わが家の 防火防災

火災編
P1~



防災編
P9~



救急編
P17~



編集
発行

一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として
助成を受け作成されたものです。



発見 ▶ 通報 ▶ 初期消火

発見 周囲に知らせる

「火事だ!」と叫び
周囲に知らせる



通報 消防に通報する

119番通報

「火事です!」

場所を伝える

火事の場所は、○○市○○町
○丁目○番○号です。
建物の名前は「_____」です。

火災の状況

●●が燃えています。

目標となる物を伝える

近所に、_____があります。

あなたの名前・
電話番号を伝える

私は、○○です。
電話番号は _____ です。

初期消火 消火器で消火

- ① 安全ピンを引き抜く ② 火から3~5mまで近づき、ノズルを火元に向ける ③ レバーを強くにぎる



初期消火が困難ならば迅速に避難

天井に火が届いていたら、
消火をやめてすぐに逃げる

延焼を防ぐためにでき
れば窓や扉を開める

貴重品や思い出品にこだわらず逃げる



幼児・高齢者・病人などの
避難を優先する

避難したら決して戻ら
ない

避難の方法

避難する時はできるだけ
煙を吸わないように、で
きればハンカチやタオル
で鼻や口を覆い、煙が充
満する前に姿勢を低くし
て逃げる

煙で視界が悪くなった
ら壁伝いに逃げる



火災で発生する一酸化炭素 (CO) を吸い込むと
数分で死に至る (濃度1%)

COは見えない

COは臭わない

マンションでのベランダからの避難方法



「へだて板」を蹴破って
避難はしごがあるところ
まで行き、はしごを降ろ
して避難を

どんな時に着衣着火するのか

調理中に手をのぼした際に袖に着火



仏壇の奥のものをとろうとして袖に着火



着衣着火してしまったら...

水をかけて消す



たたいて消す



脱いで消す



転がって消す



防災品使用のすすめ

調理には防災品のエプロン・アームカバーなどを使うと安心

このラベルが目印です



住宅火災の死者 約7割が65歳以上の高齢者



死者に占める高齢者の割合は増加している



早めの発見と避難を!

死亡原因の半分以上が逃げ遅れ



早い発見が大事!



そのためは、住宅用火災警報器の設置と日頃の点検を!



死者が発生した住宅火災の着火物は繊維製品が多い

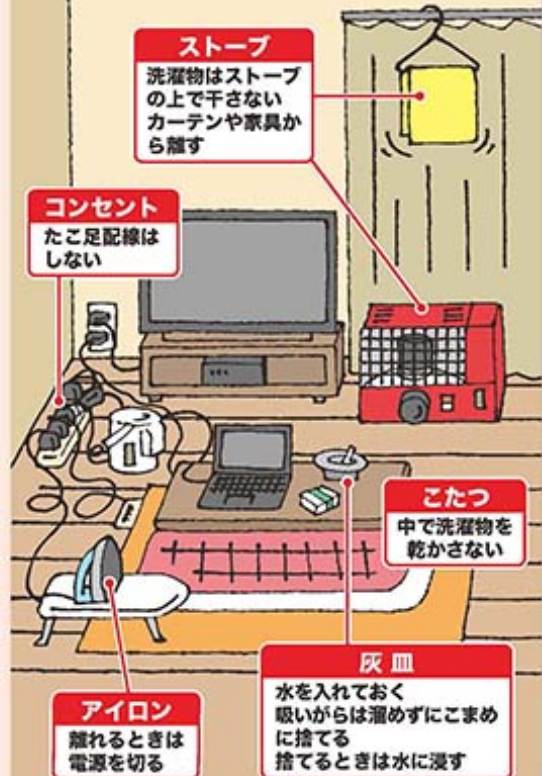
1. 寝具

2. 衣類

防災品を使おう!



リビングのここが危ない！



キッチンのここが危ない！



寝室のここが危ない!

電気コード

コードは折りたんで使用しない
家具等の下敷きにならないように

電気ストーブ

点火したまま寝ない

たばこ

寝たばこ絶対禁止
火がついたたばこの
置きっぱなし禁止

家の周囲のここが危ない! (放火対策)

車等の
ボディカバー
防災品を使用

周囲

感知ライトを付け
るなど家の周囲を
明るくする

車庫・物置
鍵をかける

ゴミ出し

ゴミ収集日・時間等に出す

テレビやインターネット等で情報を確認

● 気象特別警報・警報・注意報の種類

注意報

(災害が起きるおそれ)

土砂災害警戒情報

(山やがけが崩れるおそれ)

警報

(重大な災害が起きるおそれ)

記録的短時間大雨情報

(数年に一度しか起きない大雨)

特別警報

(重大な災害が起きるおそれが著しく大きい)

● 携帯電話やスマートフォンをフル充電に

防災アプリや通知の活用

「NHKニュース・防災」等のアプリ活用

緊急速報メール



とるべき行動

住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、「自らの判断で避難行動をとる」(避難勧告ガイドライン)



市町村からの避難勧告発令等の情報収集
早めの避難を心掛ける



一時避難場所、避難所の位置、
避難経路の事前確認



気象関係の特別警報が出される現象の種類

大雨 (土砂災害、浸水害)

暴風

暴風雪

大雪

高潮

波浪

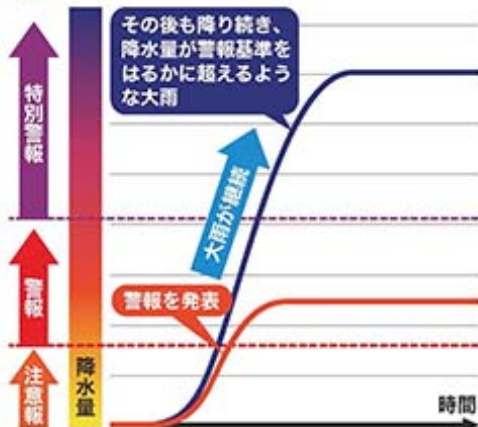
特別警報の発令基準

- 数十年に一度の強度
- 降雨が数十年に一度のレベル

大雨特別警報の場合

大雨

数十年に一度の大雨となるおそれが大きいときに「特別警報」を発表



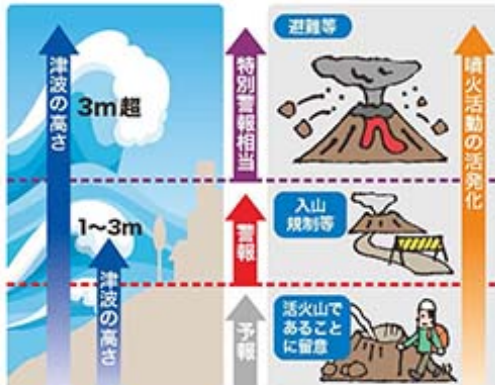
津波・火山・地震関係は危険度が非常に高いレベルのものを「特別警報」に位置付けている

津波 内陸まで影響が及ぶ大津波のおそれが大きいときに発表

噴火 居住地域に影響が及ぶ噴石や火砕流等のおそれが大きいときに発表

大津波警報
3mを超える津波

居住地域に重大な被害を及ぼす火山噴火



地震 「緊急地震速報（警報）」

震度6弱以上の揺れが予想される地震動



5段階の警戒レベル

警戒レベル	行政の防災気象情報	住民の取るべき行動
レベル5	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害発生情報（市町村） ● 大雨特別警報（気象庁） 	命を守るための最善の行動を
レベル4	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難勧告（市町村） ● 避難指示（緊急）（市町村） ● 土砂災害警戒情報（気象庁） 	速やかに全員避難
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難準備・高齢者等避難開始（市町村） ● 大雨・洪水警報（気象庁） 	高齢者等は避難
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ● 大雨・洪水注意報（気象庁） 	避難場所や経路を再確認
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ● 数日中に警報級の大雨が降る予報（気象庁） 	最新の気象情報に注意

できるだけ早期に避難

高齢者、体の不自由な方、小さな子供のいる世帯は早めの行動を

夜間や豪雨で屋外への避難が難しいときは2階などへ（垂直避難）



緊急地震速報の流れ方

速報から揺れだすまでの
時間はとても短い
すぐに身を守る行動を

直下型の場合は揺れが速報の直前や直後のこともある



緊急地震速報で身を守る行動

車を運転中

ハザードランプを点灯させて減速し、車を左側に寄せる



商業施設

陳列棚から離れる
頭を守り、落下物に備える



デパート・劇場等

人が大勢いる施設の中では、館内放送や係員の誘導に従い避難する



揺れが収まったときの行動

避難の準備

火の始末をする



出口の確保



避難の判断

非常持出袋を持参



エレベーターは使わない



外に出るときは

ブロック塀や住宅の倒壊に注意



窓ガラスや看板の落下に注意



海沿いでは



大きな地震が起きたら
津波を警戒し、すぐに
高台に避難

小さな揺れでも大津波
の危険あり

避難してからテレビや
インターネットで津波
情報を確認

津波警報が解除される
までは戻らない

第2波、第3波にも注意



普段からあらかじめ避難する場所や
避難経路を確認しておく

災害時、通常の電話はつながりにくくなる
日頃から家族との安否確認手段を話し合っ
ておこう

災害用伝言ダイヤル 171 (電話サービス)



- 1 171をダイヤル
- 2 録音は1、再生は2を押す
- 3 相手先電話番号を市外局番から押す
- 4 伝言を録音または再生

災害用伝言板 web171



- 1 パソコンやスマートフォンでweb171にアクセス
- 2 あらかじめ決めた電話番号を入力し、安否メッセージを登録・確認

自分の首をしめるようなしぐさは窒息のサイン
すぐに119番通報を

異物の除去

口の中に異物が見えたら指にハンカチ等を巻きつけ、異物をかき出す



背部叩打法 (はいぶこうだほう)

患者の後ろから、手のひらの付け根で4~5回叩く

左右の肩甲骨の真ん中あたりを強く何回も叩く



腹部突き上げ法

① 患者の後ろに回り、胴体付近に手を回す

② ヘそとみぞおちの中間を握り拳で圧迫するように突き上げる



※腹部突き上げ法は妊婦、高度肥満者、乳児へは行わない

基本的な応急処置の仕方

① 肩を軽く叩きながら、大声で呼びかけて反応を確認

② 119番通報

③ 腹部と頭部の動きを見て、呼吸を確認



④ 正常な呼吸がない場合はただちに心臓マッサージを開始

手の平を重ね、付け根で圧迫

肘をまっすぐ伸ばして体重をかけ、胸を5cm圧迫



1分間に100~120のテンポで

AEDの操作方法

AEDは心室細動を止めるために電気ショックを与えるもの ※心臓の筋肉がけいれんしたような状態になる

音声ガイドに従ってAEDを操作する

解析中、放電時には傷病者に触れない



宝くじは、 みなさまの豊かな暮らしに 役立っています。

消防団の方々と
防災学習!



一輪車に乗れるようになりました～!



桜の若水が /
こんなに育ったよ!



みんなで仲良く
読み聞かせ!



街を華やかに
彩ります!



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、
みなさまの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

日本宝くじ協会
<http://jtb.takarakuji.or.jp/>